

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 128	提案機関名 (社)神奈川県園芸協会(県果樹組合連合会)
要望問題名 ウメ新品種(「十郎小町」「虎子姫」)の耐病性について	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 現在、県西部のウメ園において、灰星病が原因と思われる枝枯症状が多発しており、被害を拡大させないため、各種防除対策を実施しているところです。本病については、品種間差が確認されており、「十郎」は弱い傾向にあることから、県育成の新品種「十郎小町」と「虎子姫」についても、本病への感受性について、調査・検討をお願いしたい。また、かいよう病、黒星病等についてもお願いしたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部病害虫研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 病害虫の診断同定および発生生態に基づく予察・防除対策の確立		
対応の内容等	平成27年度からウメの枝枯れ症状の調査をしていますが、枝枯れ症状部分からは <i>Monilinia</i> 属菌が優占的に分離されることから、ウメの枝枯れ症状は灰星病の病徴であると考えています。 現在、室内実験でこの <i>Monilinia</i> 属菌の薬剤に対する感受性を検定しており、平成28年度からウメの主要品種でウメ灰星病に対する品種間差や薬剤の防除効果などの試験を行います。県育成の新品種「十郎小町」及び「虎子姫」についても、この中で順次、灰星病に対する感受性について調査します。「十郎小町」及び「虎子姫」に対するかいよう病及び黒星病に対する感受性については、所内での発病状況を他品種と比較し、発病程度の差があれば試験に取り組みたいと考えています。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			